

2020年3月6日

株式会社三菱UFJ銀行

「2020 J-Win ダイバーシティ・アワード」準大賞および経営者アワードを受賞

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承、以下 当行）は、3月6日、特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク（略称：「NPO 法人 J-Win」）が主催する「2020 J-Win ダイバーシティ・アワード」*において、企業賞「アドバンス部門」の準大賞を受賞しました。



当行では、「認める。活かす。高めあう。～グループ全員の力でお客さまの期待を超えるために～」をスローガンに掲げ、多様な従業員が互いに尊重・切磋琢磨し、一人ひとりが成長・活躍できる組織づくりを行うことが、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」の礎になると考え、ダイバーシティ推進に取り組んでまいりました。

今回の受賞にあたって、特に評価いただいた取り組みは次の通りです。

1. 経営トップのコミットメントと強力な制度変革の推進

- (1) 経営トップによる、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」の礎としての多様性の必要性発信、並びにトップダウンでの推進
- (2) 人事評価制度の抜本的な改革

2. 女性のキャリア形成支援

- (1) 上位経営職層に対する「役員座談会」「役員メンタリング」の実施
- (2) 中堅マネジメント層を対象とした、戦略構築力・論理的思考などの習得と経営視点に磨きをかける研修の実施
- (3) 「グループ公募」「隔地異動公募」「コース転換公募」「リエントリー」等、キャリアに挑戦できる多様な制度整備

3. 管理職の意識改革

- (1) 新人事制度における能力評定の評価項目に「ダイバーシティ」を明記
- (2) 部下評価における「思い込み」「決めつけ」の排除等を企図した「評定者研修」の実施
- (3) 全従業員の「挑戦」を推奨する風土醸成
- (4) 「アンコンシャス・バイアス」（無意識の偏見）を取り上げた研修等による「心理的安全性」のあるチーム作り

(5) IT を活用した従業員の意識変化のモニタリング「Monico」の実施

今後も、多様な従業員が互いに尊重・切磋琢磨し、一人ひとりが成長・活躍する職場環境づくりに取り組んでまいります。

※ 日本企業におけるダイバーシティ推進の加速を目的に、2008 年から毎年実施されている表彰制度（参考 URL：<https://www.j-win0.jp/>）

以 上